

Ⅲ. 産学官連携イベント

1. CBC主催イベント

(1) CBCセミナー「しりべしの広域観光をデザインする！」

平成 26 (2014) 年 1 月 18 日 (土)、小樽経済センター4 階会議室においてCBCセミナー「しりべしの広域観光をデザインする！」を開催しました。

第 1 部では、『地球の歩き方』を刊行し、国内外の観光情報の発信をしている株式会社ダイヤモンド・ビッグ社代表取締役の藤岡比佐志氏、同社インバウンド事業顧問の川端祥司氏から外国人観光客の呼び込み、対応について講演をいただきました。

第 2 部では、北海道後志総合振興局産業振興部商工労働観光課観光戦略室長の柿崎 仁氏から、後志観光の現状と後志の農水産物を活用した「酒と肴」をテーマとした広域観光ビジネスの促進の取り組みについて講演をいただきました。

参加者は約 100 名で、後志観光に関する関心の高さがうかがえました。

プログラムは以下のとおりでした。

- 14:00-14:05 主催者挨拶
国立大学法人小樽商科大学 ビジネス創造センター長・教授 李 濟民
- 14:05-15:25 第一部講演「外国人を呼び込む魔法の杖」
地球の歩き方 株式会社ダイヤモンド・ビッグ社 代表取締役社長
藤岡 比左志氏
地球の歩き方 株式会社ダイヤモンド・ビッグ社 インバウンド事業顧問
川端 祥司氏
- 15:25-15:35 休憩
- 15:35-16:45 第二部講演「しりべし『酒と肴』を活用した広域観光推進の取り組み」
北海道後志総合振興局産業振興部商工労働観光課観光戦略室長
柿崎 仁氏
- 16:45-16:55 ビジネス創造センターのご紹介、ご案内ほか
司会 国立大学法人小樽商科大学 ビジネス創造センター准教授 北川 泰治郎



講演する柿崎仁氏



会場の様子

（２）CBC国際シンポジウム「食文化を通じた北海道とアジアのビジネス展開」

平成 26（2014）年 3 月 29 日（土）、北海道新聞社本社（札幌市中央区）においてCBC国際シンポジウム「食文化を通じた北海道とアジアのビジネス展開」を開催しました。

このシンポジウムは開放型知的プラットフォーム事業の一環として開催されたものです。アジア、特に台湾での北海道の食のビジネス展開について、実際にビジネスや情報発信に関わっている方々の報告、パネルディスカッションを通して、考察を深めました。

参加者は約 150 名で、好評でした。

プログラムは以下のとおりでした。

14：00-14：50 第一部講演「台湾の統一企業グループの成功事例に学ぶ」
統一企業本社広報担当官／公共事務室部長 涂 忠正氏

14：50-15：40 第二部講演「台湾でのマーケットリサーチとアジア市場の可能性」
進行式国際有限公司總經理 井上 剛氏

「北海道 Likers を通じたアジアの変化」

サッポロビール株式会社営業本部企画推進部

デジタルマーケティング室シニアマネージャー 鈴木 雄一氏

15：50-17：00 パネルディスカッション「食文化を通じた北海道とアジアの
ビジネス展開」

<パネリスト>

株式会社オーシャン代表取締役 井上 雅之氏
株式会社アザーサイド代表取締役 早坂 誠氏
NPO法人札幌ビズカフェ副代表理事/フード特区機構 販路拡大支援部部長
吉村 匠氏
国立大学法人小樽商科大学 ビジネス創造センター長・教授 李 濟民

<モデレーター>

国立大学法人小樽商科大学 ビジネス創造センター・准教授 北川 泰治郎

<総合司会>

館田 舞妃



会場の様子



パネルディスカッション

（3）「キャリア・サバイバル～” 起業家精神” で、社会の壁をぶち破れ！～」セミナー

本セミナーは起業家精神をテーマに、現役経営者のゲストから学生へ、起業やキャリアアップについて、ご本人の人生観を踏まえ講演頂き、これから社会に出る若い世代をインスパイヤする目的で北海道若年者就職支援センターとCBCが共催で実施したものです。セミナーは3回シリーズで、「起業家に学ぶ、起業の精神とモチベーション」、「2代目・3代目・事業再生家に学ぶ、ビジネスをドライブするビジネスモデル」、「社会起業家に学ぶ、会社員に必要な起業家精神」と各回の趣向を変え、展開しています。学生からは起業のきっかけや何を身に着けたら良いのかなど、真剣な質問が、ゲストへ投げかけられました。経営者からはビジネスの基本を学ぶ重要性や事業を継続する難しさ、そして社会に役立つという意識が学生へ伝えられ、会場では情熱的な雰囲気も醸成されました。またゲストの中では、参加した学生に向けて、起業して大きくなったら、ビジネスの世界でまた会おうとエールも送られ、インスパイヤされた学生達は、セミナー終了後も列をなして、ゲストに質問を続けていました。来年度は参加者をさらに増やし、多くの若い世代

へ、起業の大切さと困難、そしてそれを乗り越え、新しい道を切り開く精神を広く伝えていきたいと考えています。

第1回 起業家に学ぶ、起業の精神とモチベーション (11月6日(水) 16:00-19:00)

会場：札幌全日空ホテル

ゲスト：阿部眞久氏 (NPO 法人ワインクラスター北海道 代表)

入澤拓也氏 (エコモット株式会社 代表取締役)

加藤 渚氏 (株式会社アスラン 代表取締役)

第2回 2代目・3代目・事業再生家に学ぶ、ビジネスをドライブするビジネスモデル
(11月20日(水) 16:00-19:00)

会場：東京ドームホテル札幌

ゲスト：石水 創氏 (石屋製菓株式会社 代表取締役社長)

歌原邦芳氏 (株式会社マツオ 常務取締役)

近藤真弘氏 (株式会社ソーラートラッキング 代表取締役)

第3回 社内起業家に学ぶ、会社員に必要な起業家精神 (12月4日(水) 16:00-19:00)

会場：札幌全日空ホテル

ゲスト：穴田ゆか氏 (株式会社いたがき 取締役)

岩館 空氏 (株式会社ときめきサプリ 代表取締役)

花田滋雄氏 (北海道オフィス・システム株式会社 代表取締役社長)



（４）「イノベーションマネージャー育成講座アドバンスト・コース１／経営管理論」

産学官連携と事業化をつなぐ経営管理論という位置付けで講座を開講しました。本コースは文部科学省事業の「地域イノベーション戦略支援プログラム」の一環として、北海道大学と共同で講座を企画したものです。ちなみに受講希望者が殺到し、コースの応募定員を上回って実施されました。

従来の産学官連携、共同研究によるプロジェクトは基礎研究→開発研究という中での取り組みであり、マーケットからの事業コンセプトの取り込みが非常に弱かったことは否めません。この度、その事業化を成功に導く重要な領域として経験管理を学んでもらい、複数機関による連携事業を真のイノベーションに結び付けられるマネージャーを育成しようと推進しています。

基礎的な経営管理の講座ではありましたが、財務、マーケティング、戦略、組織とビジネスの重要なファクターを網羅的に用意し、小樽商大ビジネススクールの講師陣が熱弁を振るいました。また単なる座学ではなく、グループディスカッションを毎回実施し、分野の違う受講生5名ほどが1グループとなり、経営課題や戦略を限られた時間でまとめ上げ、プレゼンテーションを行っています。受講生には、経営管理の必要性を十分に理解され、インプットとアウトプットを繰り返し、変革のリーダーへ進化してもらいたいと期待しています。

第1部「アカウンティングとファイナンス」(10月4日(木)／10月11日(木))

講師：籾本 智之(小樽商科大学大学院商学研究科教授)

芝 香(ネクストソサエティ合同会社代表、小樽商科大学ビジネス創造センター提携コンサルタント)

第2部「マーケティング」(10月18日(木)／10月25日(木))

講師：近藤 公彦(小樽商科大学大学院商学研究科教授)

北川 泰治郎(小樽商科大学ビジネス創造センター准教授)

第3部「経営戦略」(11月1日(木)／11月8日(木))

講師：李 濟民(小樽商科大学大学院商学研究科教授)

後藤 英之(後藤英之中小企業診断士事務所代表、小樽商科大学ビジネス創造センター提携コンサルタント)

第4部「組織論」(11月15日(木))

講師：玉井 健一(小樽商科大学大学院商学研究科教授)

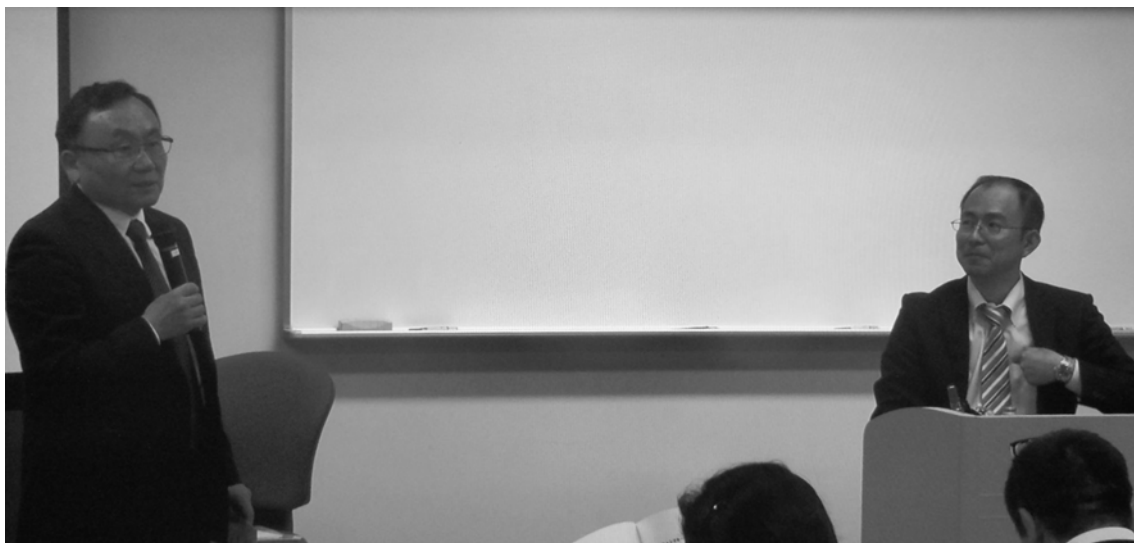
北川 泰治郎(小樽商科大学ビジネス創造センター准教授)

山本 真史(キャリアバンク株式会社, 小樽商大 MBA)

第5部「国際産学官連携と経営管理論」(11月22日(木))

講師：荒磯 恒久（北海道大学産学連携本部特任教授）

北川 泰治郎（小樽商科大学ビジネス創造センター准教授）



講義をする荒磯恒久教授（左）と北川泰治郎准教授（右）

2. 出展イベント

（1）北洋銀行ものづくりテクノフェア2013

平成 25（2013）年 7 月 24 日（水）、北洋銀行ものづくりテクノフェア 2013（主催：北洋銀行 於：札幌コンベンションセンター）の産学官金連携コーナーに小樽商科大学ブースを出展しました。出展企業・団体は 186 にのぼり、それぞれ PR、商談にあたりました。商大ブースでは大学紹介、山本学長挨拶、商大ビジネススクール（OBS）紹介のポスターを掲出し、江頭進教授「小樽あんかけ焼そば事典 2013」、近藤公彦教授「学生企業『株式会社 i-v-a-c-s』」、中川喜直教授「もうひとつのスキー発祥の地<おたる地獄坂>」もポスターおよび動画で紹介しました。近藤教授、江頭教授の動画は小樽商大発ベンチャー「株式会社 S E A - N A」が制作を担当しました。

来場者対応には李濟民ビジネス創造センター長、澤田芳郎副センター長、今野茂代助手、関下耕平研究協力係員があたりました。また近藤教授、中川教授も来場しました。

来場者は約 4,000 人でしたが、今回は例年と異なり本会場外のエントランスホールに設置されたためか産学官金連携コーナーへの来場者は例年に比べて少なかったようです。そうした状況でしたが、商大卒業生、OBS 修了者など多数がブースを訪問してくださいました。



小樽商科大学のブース



来場者対応をする李濟民センター長（右から2人目）
と澤田芳郎副センター長（右から4人目）

（2）ビジネスEXPO「第27回 北海道 技術・ビジネス交流会」

平成25（2013）年11月7日（木）～8日（金）の2日間、アクセスサッポロにて開催されました。27回を重ねる北海道最大級のビジネスイベントで、出展数330社・機関、出展規模308小間で、過去最大規模となりました。来場者は昨年より1,987人多い19,020人でした。

会場内はITビジネス展示ゾーン、学術・試験研究機関展示ゾーンなど5ブロックに分かれておりましたが、今年はお出展者数が多くなったため大学関係はホール外のフリースペースに設置されました。

商大の展示内容は7月のテクノフェアと同様のものでしたが、9月に江頭ゼミの『小樽あんかけ焼そば事典』が出版されたことをうけ、その見本も展示しました。同書は特に来場者の興味を引きました。

来場者対応は、7日澤田芳郎副センター長、今野茂代助手、関下耕平研究協力係員、石原小百合事務補佐員、8日李濟民センター長、澤田芳郎副センター長、北川泰治郎准教授、今野茂代助手、河崎智之研究協力係長、関下耕平研究協力係員、八木美澄事務補佐員があたりました。それぞれ、ブースの説明、意見交換を行いました。



小樽商大のブース



来場者に説明する八木美澄事務補佐員
(中央)